情報公開に関する事項

【介護福祉士養成校 福祉系高等学校】

令和4年4月1日現在

令和5年1月6日更新

設置者に関する情報

1 設置者の名称及び所在地並びに連絡先

名 称：大阪府教育庁

住 所：大阪府大阪市中央区大手前3丁目2番12号

連絡先： 06-4397-3587

福祉系高校に関する情報

1 名称、住所及び連絡先

名 称：大阪府立淀商業高等学校

住 所：大阪府大阪市西淀川区野里3丁目3番15号

連絡先：06-6474-2221

2 福祉系高校等の校長の氏名

氏 名：村上 憲文

3 開設年月日：平成21年4月1日

4 学則等

主な項目	内 容
① 設置目的	福祉についての理念と意義を十分に理解させるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。介護福祉士の資格を取得し、将来、福祉分野における指導者となる人材を育成する。
② 学年、学期及び授業を行わない日	(大阪府立淀商業高等学校学則第三章から抜粋) 第三章 修業年限、学年、学期及び休業日 (修業年限) 第四条 修業年限は、三年とする。 (学年) 第五条 学年は四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。 (学期) 第六条 学期は、次のとおりにする。ただし、校長が大阪府教育委員会（以下「委員会」という。）の承認を得て定めたときはその学期とする。 第一学期 四月一日から八月三十一日まで 第二学期 九月一日から十二月三十一日まで 第三学期 翌年一月一日から三月三十一日まで (休業日) 第七条 休業日は、次のとおりとする。 一 国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日 二 日曜日及び土曜日 三 夏季休業日 七月二十一日から八月三十一日まで

	<p>四 冬季休業日 十二月二十五日から翌年一月七日まで</p> <p>五 春季休業日 三月十六日から四月七日まで</p> <p>六 学校創立記念日 四月二十六日</p> <p>七 前各号に定めるもののほか、教育委員会が定める日</p> <p>2 校長は、教育上必要と認めるときは、委員会の承認を得て別に休業日を定め、又は休業日を変更することがある。</p> <p>3 校長は、教育上必要と認めるときは、委員会の承認を得て休業日に授業を行うことがある。</p>
<p>③ 学習の評価（成績 考査）・課程 修了の認定（卒業）</p>	<p>（大阪府立淀商業高等学校学則第四章から抜粋）</p> <p>第四章 教育課程及び授業日時数 （教育課程及び授業日時数）</p> <p>第八条 教育課程及び授業日時数は、別表のとおりとする。</p> <p>2 生徒は、前項に規定する所定の教育課程を履修しなければならない。</p> <p>第五章 学習の評価並びに課程の修了及び卒業の認定 （学習の評価並びに課程の修了及び卒業の認定）</p> <p>第九条 学習の評価についての必要な事項は、校長が別に定める。</p> <p>2 各学年の課程の修了及び卒業の認定についての必要な事項は、校長が定める。</p> <p><追記></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験介護福祉士の受験について 受験資格に関わる教科に関して出席時間数が三分の二（介護実習については五分の四）に満たない者に対しては、履修の認定ができない。ただし、正当な事由があると認められる場合は補講を行って履修の認定とする。
<p>④ 教職員の 組織</p>	<p>（大阪府立淀商業高等学校学則第二章から抜粋）</p> <p>第二章 課程、学科、収容定員及び職員の組織 （職員の組織）</p> <p>第三条 本校の職員は、校長、教頭、首席、指導教諭、教諭、養護教諭、講師、実習助手、事務長、主事、技師、その他必要な職員をもって組織する。</p>
<p>⑤ 賞罰</p>	<p>（大阪府立淀商業高等学校学則第八章から抜粋）</p> <p>第八章 賞罰 （褒賞）</p> <p>第二十五条 褒賞については、校長が別に定める。</p> <p>（懲戒）</p> <p>第二十六条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、生徒に懲戒を加えることができる。</p> <p>2 懲戒のうち、退学、停学及び訓告の処分は、校長がこれを行う。</p> <p>3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者 二 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者 三 正当の理由がなくて出席常でない者 四 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

5 施設設備の概要

使用教室の名称

教室の名称	備考	教室の名称	備考
普通教室 A		視聴覚教室	学内共用
普通教室 B		事務室	学内共用
普通教室 C		保健室	学内共用
介護看護実習室	和室を含む	図書室	学内共用（◎蔵書数：10,173冊 うち福祉関連書籍 518冊）
リハビリ実習室			
入浴実習室		調理室	学内共用
講師控え室		被服室	学内共用

養成課程に関する情報

1 教育課程表

【令和2年度以降入学生】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1年	社会福祉基礎	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護総合演習	介護実習	家庭基礎	国語総合	地理A	数学I	生物基礎	体育	コミュニケーション英語I	HR														
2年	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習	現代社会	科学と人間生活	体育	コミュニケーション英語I	国語選択	芸術選択	HR														
3年	社会福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習	福祉情報	世界史A	体育	現代文読解B(仮称)	英数選択	英理選択	HR														

- ・保健（2単位）は「コミュニケーション技術」の履修をもって代替する。
- ・情報（2単位）は「福祉情報」の履修をもって代替する。
- ・総合的な学習の時間（3単位）は、「介護総合演習」の履修をもって代替する。
- ・各学年で長期休業中に集中講義（介護実習1単位）を行う。

【令和4年度以降入学生】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	社会福祉基礎	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護総合演習	介護実習	家庭基礎	公共	英語コミュニケーションI	数学I	体育	現代の国語	生物基礎	HR													
2年	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習	英語論理表現I	数学A	地理総合	体育	言語文化	科学と人間生活	HR													
3年	社会福祉基礎	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	介護実習	福祉情報	歴史総合	体育	現代文読解	英語研究数学演習	芸術選択	HR													

- ・保健（2単位）は「コミュニケーション技術」の履修をもって代替する。
- ・情報（2単位）は「福祉情報」の履修をもって代替する。
- ・総合的な学習の時間（3単位）は、「介護総合演習」の履修をもって代替する。
- ・各学年で長期休業中に集中講義（介護実習1単位）を行う。

2 生徒定員・学級数

1年1学級 40名 2年1学級 40名 3年1学級 40名 (合計3学級・120名)

3 入学までの流れ (募集、申し込み、資料請求先)

①入学時期	(大阪府立淀商業高等学校学則第六章から抜粋) 第六章 入学、転学、留学、海外からの留学生の受入れ、退学、休学、出席停止等 (第一学年の入学) 第十二条 第一学年に入学を願い出た者に対して、校長は委員会の定めるところにより、入学を許可する。
②入学資格	(大阪府立淀商業高等学校学則第六章から抜粋) 第六章 入学、転学、留学、海外からの留学生の受入れ、退学、休学、出席停止等 (入学資格) 第十一条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。 一 中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者 二 外国において、学校教育における九年の課程を修了した者 三 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 四 文部科学大臣の指定した者 五 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則(昭和四十一年文部省令第三十六号)により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者 六 その他校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
③入学者の選考	大阪府公立高等学校入学者選抜実施要項により実施する。
④入学手続き	(大阪府立淀商業高等学校学則第六章から抜粋) 第六章 入学、転学、留学、海外からの留学生の受入れ、退学、休学、出席停止等 (誓約書および確認書等) 第十四条 入学を許可された者は、入学の日から十五日以内に、様式第八号による誓約書及び様式九号による確認書を校長に提出しなければならない。

4 費用

①入学検定料、入学料、授業料、実習費等	(大阪府立淀商業高等学校学則第七章から抜粋) 第七章 入学料及び授業料 (入学料及び授業料) 第二十一条 入学料及び授業料の額は、大阪府立学校条例(平成二十四年大阪府条例第八十九号)の定めるところによる。 ※ 授業料の他、教育活動や介護福祉士取得に関わる費用を徴収する。
---------------------	---

在学生：学生1人あたりの負担金 【令和4年度】

費目	1年生	2年生	3年生	概要
入学検定料	2,200円			
入学金	5,650円			
授業料	118,800円	118,800円	118,800円	
実習費	14,850円	23,950円	22,750円	実習費、実習保険、検便代等
施設維持費	0円	0円	0円	
その他諸費	210,896円	35,131円	38,841円	教科書、実習服、体操服、修学旅行積立金等
合計	352,396円	177,881円	180,391円	

★授業料を徴収しているが、国の法律改正により、平成26年度入学生より保護者等の「市町村民税所得割額」が30万4200円（年収910万円程度）未満の世帯では手続きにより、国の就学支援金の対象となり、授業料が実質無料である。

★その他、必要に応じて介護福祉士取得に関わる費用を徴収する場合がある。

5 教員数及び科目別担当教員名 【令和4年度】

◎必置教員（福祉科教員）数 7名

名前	略歴	資格
赤松真有美	H16 4月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 4月～大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	看護師 保健師 養護教諭一種 高一種「福祉」 高一種「公民」
黒河佳子	H18 4月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 4月～大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	高一種「福祉」 高一種「公民」 高一種「家庭」
小林翔太	H31 4月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	高一種「福祉」 高一種「公民」
坂田千裕	H29 4月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	介護福祉士 高一種「福祉」 高一種「家庭」
辻本智加子	H15 4月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	高一種「福祉」 高一種「公民」 高専修「商業」
和中綾子	H29 8月～ 大阪市立淀商業高等学校 福祉科教員 R4 大阪府移管に伴い、校名が大阪府立淀商業高等学校へ変更	介護福祉士 高一種「福祉」 高一種「公民」
金子龍之介	R4 4月～ 大阪府立淀商業高等学校 福祉科教員	高一種「福祉」

◎科目別担当教員名

科 目	教員名	科 目	教員名
社会福祉基礎	辻本智加子 小林翔太 金子龍之介	介護総合演習	辻本智加子 小林翔太 黒河佳子 金子龍之介
介護福祉基礎	辻本智加子 小林翔太 金子龍之介	介護実習	赤松真有美 黒河佳子 小林翔太 坂田千裕 辻本智加子 和中綾子 金子龍之介
コミュニケーション技術	小林翔太 辻本智加子 黒河佳子 金子龍之介	こころとからだの理解	赤松真有美 黒河佳子 坂田千裕 和中綾子 金子龍之介
生活支援技術	赤松真有美 坂田千裕 和中綾子 小林翔太 黒河佳子	家庭基礎	黒河佳子 坂田千裕
介護過程	和中綾子 黒河佳子	現代社会 公共	楠山友貴 真鍋恵

6 使用する教科書・副教材

- ・社会福祉基礎（実教出版） ・介護福祉基礎（実教出版）
- ・こころとからだの理解（実教出版） ・生活支援技術（実教出版）
- ・コミュニケーション技術（実教出版） ・介護過程（実教出版）
- ・介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト（中央法規）
- ・介護職員初任者研修テキスト第1分冊・第2分冊（QOLサービス）
- ・介護福祉士国家試験模擬問題集（中央法規） ・見て覚える介護福祉士国試ナビ（中央法規）
- ・2023年度版介護福祉士重要過去問完全マスター問題集（ナツメ社）
- ・2022年度版U-CANの介護福祉士これだけ！一問一答&要点まとめ（ユーキャン）
- ・高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社）
- ・高等学校 公共（第一学習社） ・クローズアップ公共2022（第一学習社）
- ・高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社） ・ニュービジョン現社（浜島書店）

7 その他教材

- ・生徒の学習状況に応じて、視聴覚教材等を活用する。

8 主な介護実習施設等の名称、住所及び事業内容 【令和2年度～】

名 称	住 所	事業内容
松福会デイサービスセンター	大阪市西淀川区大和田2-5-11	老人デイサービス事業
西淀地域在宅サービスステーション	大阪市西淀川区福町2-4-16	老人デイサービス事業
苗加病院デイサービスセンターゆいのもり	大阪市西淀川区姫里2-16-24	老人デイサービス事業
デイサービスセンター加寿苑	大阪市淀川区加島1-34-8	老人デイサービス事業
通所介護サービスビハークのみ園	大阪市東淀川区菅原7-15-14	老人デイサービス事業
大正デイサービスセンター	大阪市大正区北村3-4-3	老人デイサービス事業
デイサービスセンターサンホーム	大阪府東大阪市御厨南3-1-18	老人デイサービス事業
アーバンケア稲田デイサービスセンター	大阪府東大阪市稲田新町1-10-1	老人デイサービス事業

介護老人保健施設セレーナなとりデイケア	大阪市西淀川区大野 2-1-35	老人デイサービス事業
介護老人保健施設愛仁会ユーアイ	大阪市西淀川区佃 2-2-58	老人デイサービス事業
介護老人保健施設よどの里通所リハビリテーション	大阪市西淀川区姫島 2-13-20	老人デイサービス事業
介護老人保健施設フェリス大和田通所リハビリテーション	大阪市西淀川区大和田 6-13-48	老人デイサービス事業
介護老人保健施設やまき苑通所リハビリテーション	大阪市西成区玉出西 2-5-36	老人デイサービス事業
介護老人保健施設おひさま園通所リハビリテーション	大阪市旭区清水 2-1-21	老人デイサービス事業
児童発達支援センター姫島こども園	大阪市西淀川区姫島 6-3-33	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター都島こども園	大阪市都島区都島本通 4-10-12	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター淡路子こども園	大阪市東淀川区西淡路 5-1-12	障がい児福祉サービス事業
大阪市更生療育センター児童発達支援センター	大阪市平野区喜連西 6-2-55	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センターキンダーハイム	大阪市平野区瓜破南 2-4-124	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター東大阪市立第一はばたき園	大阪府東大阪市菱江 5-2-34	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター寝屋川市立ひばり園	大阪府寝屋川市大谷町 6-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター堺市立第2もず園	大阪府堺市西区上野芝町 2丁-4-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター東大阪市立第二はばたき園	大阪府東大阪市菱江 5-2-34	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター寝屋川市立あかつき園	大阪府寝屋川市大谷町 6-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター寝屋川市立あかつき園	大阪府寝屋川市大谷町 6-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター堺市立第1もず園	大阪府堺市西区上野芝町 2丁-4-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター八尾市立いちょう学園	大阪府八尾市八尾木 2-90	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センター大阪府済生会吹田療育園	大阪府吹田市市川園町 1-1	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センターあさしお園	大阪市港区夕風 2-5-3	障がい児福祉サービス事業
児童発達支援センターゆうなぎ園	大阪市港区夕風 2-5-3	障がい児福祉サービス事業
障害児入所施設大阪整肢学院	大阪市北区中津 2-2-22	障がい児福祉サービス事業
グループホームさくらんぼ	大阪市西淀川区大野 2-1-14	認知症対応型共同生活介護事業
グループホーム雅の家	大阪市西淀川区大和田 5-4-14	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームソシアス西淀川大野	大阪市西淀川区大野 1-11-18	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームほのぼの塚本	大阪市西淀川区花川 2-10-28	認知症対応型共同生活介護事業
グループホーム飛鳥ともしび苑	大阪市東淀川区東中島 3-16-20	認知症対応型共同生活介護事業
グループホーム華	大阪市西成区千本南 1-23-28	認知症対応型共同生活介護事業
北条グループホーム	大阪府大東市北条 7-4-1	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンターかわなべ	大阪市平野区長吉川辺 2丁目北 2-3	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンターほほえみ長原	大阪市平野区長吉長原東 3-2-5	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター加美北	大阪市平野区加美北 6-10-13	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター我孫子	大阪市住吉区山之内 1-20-4	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター帝塚山	大阪市住吉区万代 4-12-27	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター天保山	大阪市港区港晴 2-8-22	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター大阪加島	大阪市淀川区加島 3-1-26	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンター平野北	大阪市平野区平野北 2-14-6 オオクラ医療複合ビル	認知症対応型共同生活介護事業
ニチイケアセンターなかもず	大阪府堺市北区長曾根町 3021-5	認知症対応型共同生活介護事業

グループホームたのしい家東淀川菅原	大阪市東淀川区菅原 7-9-19	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家田辺	大阪市東住吉区田辺 2-11-43	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家淀川	大阪市淀川区十三元今里 1-9-6	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家大正	大阪市大正区平尾 3-14-8	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家平野	大阪市平野区加美西 2-6-13	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家木川東	大阪市淀川区木川東 1-5-13	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家瑞光	大阪市東淀川区瑞光 2-8-15	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家西九条	大阪市此花区西九条 3-4-73	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家八戸ノ里	大阪府東大阪市下小坂 4-4-13	認知症対応型共同生活介護事業
グループホームたのしい家新深江	大阪市東成区深江南 1-9-25	認知症対応型共同生活介護事業
ラヴィータドゥーエ	大阪市此花区西九条 3-4-73	認知症対応型共同生活介護事業
西淀川特別養護老人ホーム	大阪市西淀川区大和田 2-5-11	介護保険事業
特別養護老人ホームルーチェ千舟	大阪市西淀川区千舟 2-7-2	介護保険事業
特別養護老人ホーム加寿苑	大阪市淀川区加島 1-34-8	介護保険事業
特別養護老人ホーム平成新高苑	大阪市淀川区新高 4-15-25	介護保険事業
淡路介護老人福祉施設ビハーラ	大阪市東淀川区淡路 5-11-17	介護保険事業
特別養護老人ホーム瑞光苑	大阪市生野区巽東 4-11-10	介護保険事業
泉尾特別養護老人ホーム大正園	大阪市大正区北村 3-4-3	介護保険事業
特別養護老人ホームサンホーム	大阪府東大阪市御厨南 3-1-18	介護保険事業
特別養護老人ホームアーバンケア稲田	大阪府東大阪市稲田新町 1-10-1	介護保険事業
特別養護老人ホーム豊中あいわ苑	大阪府豊中市寺内 1-1-10	介護保険事業
特別養護老人ホーム高殿苑	大阪市旭区高殿 5-10-7	介護保険事業
介護老人保健施設愛仁会ユアアイ	大阪市西淀川区佃 2-2-58	介護保険事業
介護老人保健施設セレーナなとり	大阪市西淀川区大野 2-1-35	介護保険事業
介護老人保健施設よどの里	大阪市西淀川区姫島 2-13-20	介護保険事業
介護老人保健施設やまき苑	大阪市西成区玉出西 2-5-36	介護保険事業
介護老人保健施設おひさま園	大阪市旭区清水 2-1-21	介護保険事業
介護老人保健施設やまき・あべの苑	大阪市阿倍野区阪南町 1-45-8	介護保険事業
介護老人保健施設きんもくせい	大阪府豊中市寺内 1-1-10	介護保険事業

9 介護実習の内容及び特徴

① 介護実習の目標

校内で学んだ学習を基礎として、介護に必要な知識・技術を統合し対象に応じた介護の実践能力と態度を養う。

② 介護実習の実施時期

- ・介護実習の総合単位は13単位（463時間：52日間）とする。
- ・介護実習は集中実習の形式をとり、教科の学習の進度に応じ、学年毎に実習内容を分ける。なおこの間、他教科の授業に支障を生じないよう教務主任・各教科担当者と綿密な調整を行う。

学年別日程表【令和4年度～】

学年	時期	期間	実習時間(1日当たり)	実習Ⅰ	施設種別
1年	7月第3週目	5日間	9時間	実習Ⅰ	デイサービス・デイケア
	11月第3・4週目	7日間	9時間	実習Ⅰ	デイサービス・デイケア
2年	6月第3週目	5日間	9時間	実習Ⅰ	デイサービス・デイケア
	7月第3・4週目	6日間	9時間	実習Ⅰ	グループホーム
	8月第5週目・9月第1週目	9日間	9時間	実習Ⅱ	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設
3年	6月第3週目	5日間	9時間	実習Ⅱ	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設
	7月第2～4週目	15日間	9時間(14日間) 4時間(1日間)	実習Ⅱ	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設

※ 実習時間は、スクール時間として50分を1時間とする。(1日の実習時間を450分とする。)

③ 学年毎の実習内容

【第1学年】

目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設の概要や生活支援目標・理念、施設職員の役割について学び、利用者の方の生活の場としての施設について理解を深める。(デイ) 利用者の方(高齢者)との人間的なふれあいを通じて、コミュニケーションを深め、共感的理解に立って接することができる。 校内で学んだ介護知識・介護技術を基礎として、介護現場の介護知識・介護技術を学ぶ。
介護実習の内容	<p>【事前指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護総合演習を通じて、実習の意義や目標を理解する。 施設内においては、あくまで主体は利用者の方であることを確認する。 実習生としての心構え・言葉使い・マナー等の指導 実習日誌の書き方 施設職員の方からの施設ガイダンスの実施 (施設概要・利用者の方の介護度、障がいの程度、実習時間・施設までの交通機関、人間的成長に向けての心構え、諸注意など) <p>【現場実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内で学んだ介護知識・介護技術を基礎として、介護現場ではどのような介護が実践されているか職員の方の指導のもと見学等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 利用者の方とのコミュニケーション レクリエーションの見学・参加 自立度の高い利用者の方の食事介助・歩行介助・排泄介助・入浴介助の見学等 <p>【施設内反省会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習目標への到達度の評価、課題の発見等について実習指導者から指導を受ける。 <p>【校内実習報告会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒同士によるグループスーパービジョンを通じて介護実習について振り返りながら、意見交換・課題発見を行う。 また、グループごとにテーマを決めて発表を行い、介護実習での体験を共有し、次回の介護実習へのステップとする。

【第2学年】

目 標	<ul style="list-style-type: none">・施設の概要や生活支援目標・理念、施設職員の役割について学び、利用者の方の生活の場としての施設について理解を深める。(グループホーム・児童発達支援センター・入所施設)・利用者の方(高齢者・障がい児)との人間的なふれあいを通じて、コミュニケーションを深め、共感的理解に立って接することができる。・校内で学んだ介護知識・介護技術を基礎として、介護現場の介護知識・介護技術を学ぶ。・日常生活援助に関する介護技術能力を深めると同時に、各種の介護を助ける住生活や介護機器の知識と活用能力を養う。・高齢者・障がい児(者)における介護ニーズを理解すると共に、多様な居宅介護サービスについて学ぶ。
介 護 実 習 の 内 容	<p>【事前指導】</p> <ul style="list-style-type: none">・介護総合演習を通じて、実習の意義や目標を理解する。・施設内においては、あくまで主体は利用者の方であることを確認する。・実習生としての心構え・言葉使い・マナー等の指導・実習日誌の書き方・施設職員の方からの施設ガイダンスの実施 (施設概要・利用者の方の介護度、障がいの程度、実習時間・施設までの交通機関、人間的成長に向けての心構え、諸注意など) <p>【現場実習】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内で学んだ介護知識・介護技術を基礎として、介護現場ではどのような介護が実践されているか職員の方の指導のもと見学・実践を行う。<ul style="list-style-type: none">・利用者の方とのコミュニケーション。・認知症高齢者との共感的理解に立ったコミュニケーション。・ケアプラン作成の事前学習として、アセスメントの視点を持って利用者の方について観察・コミュニケーションを行う。・要介護度の高い利用者の方の食事介助・歩行介助・排泄介助・入浴介助の見学や実施。 <p>【施設内反省会】</p> <ul style="list-style-type: none">・実習目標への到達度の評価、課題の発見等について実習指導者から指導を受ける。 <p>【校内実習報告会】</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒同士によるグループスーパービジョンを通じて介護実習について振り返りながら、意見交換・課題発見を行う。・また、グループごとにテーマを決めて発表を行い、介護実習での体験を共有し、次回の介護実習へのステップとする。

【第3学年】

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の概要や生活支援目標・理念、施設職員の役割について学び、利用者の方の生活の場としての施設について理解を深める。(デイ・入所施設) ・利用者の方(高齢者)との人間的なふれあいを通じて、コミュニケーションを深め、共感的理解に立って接することができる。 ・介護の専門職として介護福祉士の役割を学び、さらに医療・保健その他関連する従事者と連携・協力を図り、チームケアの重要性を学ぶ。 ・利用者の方の状況・状態を考慮し、よりよい介護を計画する能力を養う。また利用者の方ひとり一人に応じた介護計画を作成・実践する。
介 護 実 習 の 内 容	<p>【事前指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護総合演習を通じて、実習の意義や目標を理解する。 ・施設内においては、あくまで主体は利用者の方であることを確認する。 ・実習生としての心構え・言葉使い・マナー等の指導 ・実習日誌の書き方 ・施設職員の方からの施設ガイダンスの実施 (施設概要・利用者の方の介護度、障がいの程度、実習時間・施設までの交通機関、人間的成長に向けての心構え、諸注意など) <p>【現場実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の介護現場を通じて、基本的な介護技術さらには実践的な介護技術の習得を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方とのコミュニケーション。 ・認知症高齢者との共感的理解に立ったコミュニケーション。 ・利用者の方一人ひとりに応じた個別介護を実施。 ・一人の利用者の方を担当させていただき、継続的な観察・基本的な介護技術を提供し、ケアプランの立案・実施を行う。 ・要介護度の高い利用者の方の食事介助・歩行介助・排泄介助・入浴介助の見学や実施。 ・デイにおける集団レクリエーションの計画・実施・評価を行う。 <p>【施設内反省会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目標への到達度の評価、課題の発見等について実習指導者から指導を受ける。 <p>【校内実習報告会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士によるグループスーパービジョンを通じて介護実習・介護過程について振り返りながら、意見交換・課題発見を行う。 ・また、グループごとにテーマを決めて発表を行い、介護実習での体験を共有し、介護福祉士としてのステップとする。 ・ケースカンファレンス(受け持ち利用者の方の事例検討)

※ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出により、令和4年度の施設実習実施に関しては、文部科学省および厚生労働省(令和2年2月28日付文書)の事務連絡にもとづき、実習の目標等に照らし合わせて必要な知識及び技能を修得することができる学校内の演習等に代替する場合があります。

実績に関する情報

1 卒業生延べ人数

卒業年度 期 生	H23 年度 7 期生	H24 年度 8 期生	H25 年度 9 期生	H26 年度 10 期生	H27 年度 11 期生	H28 年度 12 期生
卒業生数	32名	37名	34名	34名	34名	38名

卒業年度 期 生	H29 年度 13 期生	H30 年度 14 期生	R1 年度 15 期生	R2 年度 16 期生	R3 年度 17 期生	
卒業生数	37名	32名	33名	37名	29名	

2 介護福祉士国家試験の受験状況

卒業年度 受 験 回	H23 年度 第 24 回	H24 年度 第 25 回	H25 年度 第 26 回	H26 年度 第 27 回	H27 年度 第 28 回	H28 年度 第 29 回
受験者数	32名	37名	34名	34名	34名	38名
合格者数	32名	37名	33名	34名	34名	38名
合格率	100%	100%	97%	100%	100%	100%

卒業年度 受 験 回	H29 年度 第 30 回	H30 年度 第 31 回	R1 年度 第 32 回	R2 年度 第 33 回	第 3 年度 第 34 回	
受験者数	38名	32名	33名	37名	28名	
合格者数	38名	31名	33名	36名	28名	
合格率	100%	97%	100%	97%	100%	

3 卒業生の進路状況（就職先の施設種別、卒業生のうちの就職者数、進学先の学校種別及び進学者数）

【令和3年度卒業生】

●就職者

就 職 先	卒業生数
居宅サービス事業所	0名
介護保険施設	7名
障がい福祉サービス事業所	0名
医療機関	0名
その他	0名
他産業	1名
合 計	8名

●進学者

進 学 先	卒業生数
四年制大学	10名
短期大学	2名
専門学校	9名
合 計	21名